

錦秋の候 宮崎県防衛協会 青年部会 宮崎支部会員の皆様には、恙なくお過ごしのことと大慶に存じます。今年5月にコロナ騒動が終息して皆様もいつもの日常を取り返し、私の県外出張等も普段のローテーションに戻りつつあります。

そんな先月中旬、日本情緒と紅葉を求めて飛騨白川郷や高山まで脚を伸ばした処、観光バス駐車場の9割が海外客用で、飛び交う外国語と喧噪にまるで国外に居るようでした。

宮崎では余り感じませんが、県外等の人気観光地はインバウンド需要が爆発しており、円安も相俟って東京や大阪の億ションが外人に馬鹿売れしているとも仄聞しています。

さて先月8日は、都城駐屯地創立72周年記念行事を楽しみにしていた処、私が白内障手術の為に急遽4日間の入院を余儀なくされ、宮崎支部から2名に参加して頂きました。

また29日は「高等工科大学体育大会」が、4年振りにご来賓や保護者等をお招きして、横須賀の武山駐屯地で開催され、私も長男が在籍した28年前に一度観戦したきりなので、わくわくし乍ら心躍らせて、元気滲刺とした生徒達の各競技を堪能した次第です。

実施種目のタイトルは「障害物競走」や「綱引き」、そして「借り物競走」に「騎馬戦」と大凡の内容は想像が出来ましたが、実際の競技はやはり自衛隊ならではのもので、70年前の先輩達から連綿と続く「少年工科大学」の歴史や伝統を感じさせるには充分でした。

ところで今年も残すところあと2ヶ月となり、来年2月は支部総会を予定していますが、いよいよ支部長交代となりますので、自薦他薦でも結構ですから「支部長をやってみたい」と云う積極的な若い方がおられましたら、是非とも私宛にご一報下されば幸甚に存じます。

2年越しのウクライナ戦争に呼応するかの如く、ハマスによるイスラエル侵攻が生じたかと思えば、アラブ諸国のイスラム教徒がデモに走り、今世界は正に大戦前夜のような有様で、さらに東アジアでは北朝鮮や中国が虎視眈々と戦端を開かんと画策しています。

ついこの間まで一国平和主義を謳歌していた我が日本は、否応なく迫り来る厳しい現実から眼を逸らせず、漸く重い腰を上げて約43兆円の防衛予算増額を計上した処、少子化や自衛官の処遇等で募集困難を極め、若年隊員が集まらず定年延長へと舵を切りました。

国防一つを取っても問題山積の我が日本ですが、まさか隣国へ引っ越すわけにも行かず、この国を一緒に守りたいと考える若い人達に、この防協青宮崎支部を託す所存です。

来月3日は「新田原エアーフェスタ」が開催予定で、基地内駐車券をご希望の方は2名に限り手配していますので、ご連絡頂けたら厳正な抽選の上で差し上げたいと思います。

令和5年11月1日

宮崎県防衛協会 青年部会 宮崎支部長 小 倉 和 彦